

と き：11月7日(日)
 (開場：午前9時)
 ところ：倉吉市営野球場
 (グリーンスタジアム倉吉)



プログラム	
9:00～	開 場
9:30～11:45	少年少女ふれあい野球教室
10:30～11:30	ふれあい講演会 (野球教室とは別会場で開催)
12:00～12:15	ドリーム抽選会
12:30～12:50	開会式
13:00～13:30	アトラクション (プロに挑戦、ホームラン競争)
13:30～15:00	ドリームゲーム
15:00	閉会

主催：鳥取県、倉吉市、財団法人自治総合センター
 協力：日本プロ野球名球会、全国野球振興会(OBクラブ)

倉吉市に名球会(金田正一、広瀬叔功、米田哲也、衣笠祥雄、藤田 平、村田兆治、大島康徳、駒田徳広)とOBクラブ(斎藤明夫、達川光男、山本和範、市川和正、小松辰雄、小早川毅彦、本西厚博、秦 真司、西崎幸弘、彦野利勝、笹篠賢治、高橋 智、前原博之、吉永幸一郎、柳田聖人、今中慎二 現在予定)の元プロ野球選手24人がやってきます! 往年のスタープレーヤー、懐かしの名選手、思い出・憧れの選手が一堂に会し、盛りだくさんの内容で市民とふれあいます。

倉吉市選抜チームと名球会・OBクラブチームが対戦する「ドリームゲーム」や、豪華賞品の当たる「ドリーム抽選会」、不滅の400勝投手 金田正一さんによる「ふれあい講演会」などなど、楽しいイベントがいっぱいです。

ボランティアスタッフ募集!

このイベントにボランティアとして協力していただけるスタッフを募集します。皆様のご協力をお願いします。

募集期限：9月30日(木)

募集対象：高校生以上

募集人数：200人程度

ボランティア期間(A～D各50人)

【A】11月6日(土)午前8時～午前12時

【B】11月6日(土)午後1時～午後5時

【C】11月7日(日)午前8時～午前12時

【D】11月7日(日)午前12時～午後4時

仕事内容：会場設営、会場整理、駐車場係等
 問い合わせ先：

倉吉市教育委員会体育振興課(倉吉市 一ツツ
 -内)(☎22-8167 ☎22-5684)



<ドリーム抽選会>

当日12時までに来場された人を対象に、プレゼント賞品の抽選会を行います。プレゼント賞品は、サイン入りバット24本、サイン入りグローブ24個、特大サインボール1個(全選手サイン入り)、サインボール240個などを用意しています。

また、先着1,000人に「特製フェイスタオル」と「特製ストラップ」を配布します。みなさん、そろってご来場ください。

<ドリームチームとの『夢のツーショット写真』プレゼント募集!>

名球会・OBクラブ選手(ドリームチーム)とのツーショット写真を抽選でプレゼントします。

プレゼント賞品の対象は、男女ペアかファミリーで、撮影当日(11月7日)に市営野球場までお越しいただける人に限ります。写真は、額装(45cm×35cm)仕上げで後日お渡しします。なお、当選者へは10月20日(水)に直接通知し、11月1日号市報でも発表します。(落選者への連絡はいたしませんのでご了承ください。)

プレゼント賞品：ドリームチームと男女ペア写真 5組

ドリームチームとファミリー写真 3組

応募方法：官製ハガキ(1枚1名様)に郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望賞品[男女ペア又はファミリー]を記入してお申し込みください。

宛先：〒682-0822 倉吉市葵町591-1

倉吉市教育委員会体育振興課内 「夢のツーショット写真係」

締め切り：10月15日(金)到着分まで

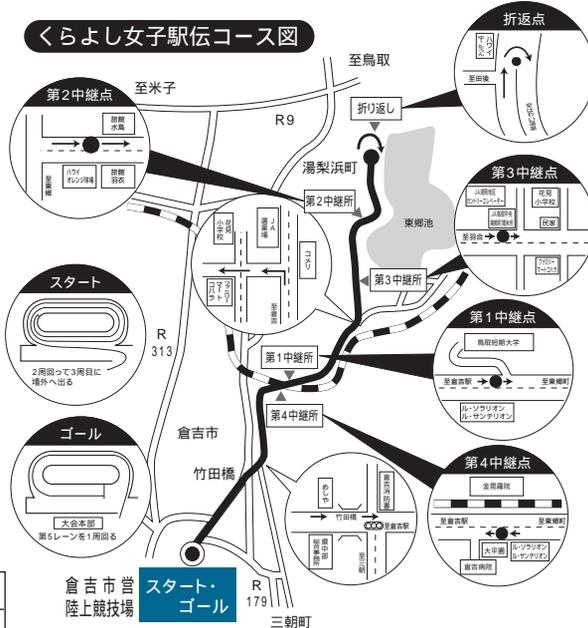
硬式テニス教室「子ども体力向上キャンペーン」開催! と き：9月26日(日)14:00～17:00
 (受付開始13:00)と ところ：南谷西園テニス場(羽合町南谷) 講師：山本育史(やまもとやすふみ)プロ 対象：小学4年生～中学3年生(初心者でもOK!) 参加費：200円
 申込・問い合わせ先：NPO法人倉吉市河北地区スポーツクラブ徳丸(☎090-3377-5635)

南部忠平杯 くらよし女子駅伝競走大会

第19回

2004 10月10日(日)
午前10時スタート 雨天決行
スタート・ゴール
倉吉市営陸上競技場

倉吉打吹・東郷湖畔
日本陸連公認コース



先頭通過予定時刻			
第1中継所	第2中継所	第3中継所	第4中継所
10:19	10:31	10:40	10:49

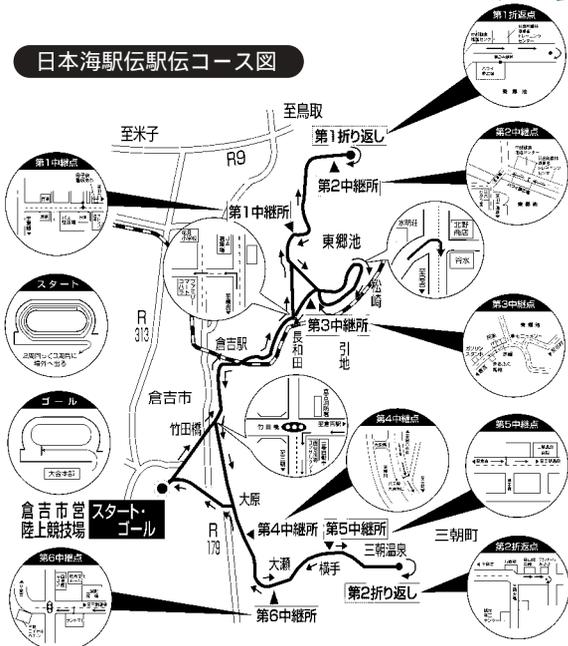
主催 倉吉市・鳥取陸上競技協会・新日本海新聞社

ご通行の皆様へ
くらよし女子駅伝開催に伴い、当日は大変混雑が予想されますので、通行には十分お気をつけ下さい。ご協力をお願い致します。

第24回 日本海駅伝競走大会

2004 10月10日(日)
正午スタート 雨天決行
スタート・ゴール
倉吉市営陸上競技場

倉吉打吹・東郷湖畔・三朝
日本陸連公認コース



ご通行の皆様へ
日本海駅伝開催に伴い、当日は大変混雑が予想されますので、通行には十分お気をつけ下さい。ご協力をお願い致します。

先頭通過予定時刻					
第1中継所	第2中継所	第3中継所	第4中継所	第5中継所	第6中継所
12:30	12:38	13:02	13:26	13:34	13:48

主催 鳥取陸上競技協会・新日本海新聞社

ニュースポーツ教室参加募集！ とき：10月14日、11月18日、12月9日、1月20日、2月10日 20:00～22:00(受付開始19:45)
ところ：県立倉吉体育文化会館(山根) 種目：インディアカ、ユニバーサルホッケー、パドルテニス、スポーツチャンバラなどを同時に行い、好きな種目に参加します。参加料：100円
申込・問い合わせ先：NPO法人倉吉市河北地区スポーツクラブ事務局 徳丸(☎090-3377-5635 ☎22-9786)

アンニョンハセヨ!

韓召眞イムニダ

国際交流員 韓召眞

韓国のお盆・秋夕(チュソク)

新しい年のカレンダーをもらった時、皆さんは最初に何をされますか。大切な人の誕生日とか休日をチェックするのはないでしょうか。たぶん多くの韓国人は正月と秋夕(チュソク・旧暦八月十五日の旧盆)の連休を数えるでしょう。なぜなら、韓国のお正月とお盆は旧暦を使うため、カレンダーで確認しないと分からないからです。待ちに待った秋夕が今年は九月二十八日です。当日を基準に前後一日ずつ休みになるので、今年は二十五日の土曜日から二十九日の水曜日までの五連休になりますね!

秋夕になると多くの人が帰省をします。全国民四千八百万人の内、約二千七百万人が一度に移動するため、高速

道路はまさに駐車場状態になります。普段は車で四時間で行けるソウル―釜山の区間が十二時間以上かかるようになる事は言うまでもありません。こんな帰省の様子をテレビで見た外国の方は、韓国に戦争でも起こったかと勘違いをするそです。

秋夕には親戚が集まり、お墓参りをし、ご先祖様をまつるのは日本とあまり変わらないと思いますが、ただ、満月になるので、お月様を見ながら願い事をするのがちょっと違いますね。韓国では、旧正月の初の満月とお盆の満月を見ながら願い事をする習慣が昔からあります。願い事のランキングを見てみると、去年は「宝くじの当り」とか「家族の健康」が上位を占めましたが、今年は「家族の健康」と「より良い職場への転職」が上位を占めていました。皆さんはどんな願い事を持っていますか。九月二十八日の満月を見ながら二、四年下半期の希望を願ってみるのはいかがでしょうか。では、また来月に会いましょう。

くらし国際交流

フェスティバル開催

今年も倉吉未来中心にて『くらし国際交流フェスティバル』を開催します。

会場に設けられたブースでは、県内国際交流団体の活動紹介、世界の民芸品や料理の販売、日本文化体験コーナー、ステンシル体験コーナーなどを設置、また、ステージイベントとして、スタディーツアー帰国報告会(アメリカのバーモント州から3人招へい予定)、アフリカン太鼓の演奏やバリ舞踊、世界のクイズ大会や抽選会など、多彩な催しを予定しています。

また当日お手伝いいただけるボランティアの方も募集しています。

日時: 10月3日(日)

午前10時~午後3時

場所: 倉吉未来中心アトリウム・小ホール

問い合わせ先:

(財)鳥取県国際交流財団倉吉事務所

(☎23-5931)

「親として身の回りを見つめ直そう」

最近、気になることの一つに、家庭の崩壊が進み、「人」としての間人らしさを失いつつあるという現象です。他人を軽視し自分だけよければよいという方向へと向かっている現状を直視し、いま一度、親としてお互いの身の回りを見つめ直したいものです。



どこで、どう歯車がずれてしまったのか、テレビ・新聞で毎日のように、乳幼児や小・中学生・高校生達に関わる悲しい事件が報道され、心が痛みます。

わが子がこの世に誕生したときは、家族はどんなに喜んだことでしょう。そして、どうか元気に育ってほしいと祈る気持ちで子育てするのは、親として当然の心境であり、責任でもありません。

それが、まだ言葉も言えない乳幼児を、「泣きやまないから」「食べないから」などと言って、手を挙げたり、食事を与えないなどして虐待することは、決して許されることではありません。

また、友達に悪口を言われたり、しぐさを指摘されたりしたこと、すぐに「キレ」て、殺傷行為に走ってしまう痛ましい事件も発生しています。が、とかく「特別な事件」として処理され、親や大人の責任が棚上げされてしまうことがあります。

今、家庭の中に「一家団らん(樂)」の場面がどれだけあるでしょうか。食事は無言のまま「孤食」で済ませ、家族はそれぞれの部屋へと散ってし

まう傾向にあります。

ましてや、家族間であいさつがどれほど交わされているのでしょうか。あいさつは、それを交わすことによつて、相手を人として尊重し、受容している表れであり、お互いの心を繋ぐ無償の行為でもあります。

「おはよう」「おやすみなさい」「いただきます」「ごちそうさま」「行ってきます」「たがいま」「ありがと」「こんにちは」「さようなら」...などのあいさつが、家庭や地域で日常的にどの程度交わされているでしょうか。

家族の語らいもなく、いつ帰宅し、いつ寝たのかさえも分からない家庭になってしまつては、心豊かで温かな家庭は築かれず、まして地域にとつても不幸なことだと思います。

広い社会の中で、いろいろな人々と共に支え合いながら生きていくという実感が持てるよう、まず、親・大人自らが、相手の立場に立つて細かな心遣いや優しい心を忘れずに、お互いの生き方を尊重し合つて暮らしていけば、今日の不幸な出来事も少なくなっていくことでしょう。

(部活解放・人権啓発資料作成委員会 岩本)

人権尊重都市宣言のまち倉吉

差別のない明るい社会へ